

第5学年 体育科学習指導案

学級 5年1組 35名

指導者 川網 義朗

1 単元名 けがの防止 (保健)

2 単元の目標

【関心・意欲・態度】

けがの防止やけがの手当について、資料を調べたり、進んで課題解決に取り組んだりすることができるようにする。

【思考・判断】

けがの防止や手当について、課題を見付けたり、解決の方法を考えたり、判断したりすることができるようにする。

【知識・理解】

交通事故や身の回りの生活が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることなどが必要であることを理解できるようにする。また、けがの簡単な手当は、速やかに行う必要があることについて理解できるようにする。

3 単元の評価規準

【健康・安全への関心・意欲・態度】

- ・けがの防止について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。
- ・けがの防止について、課題の解決に向けて話し合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。

【健康・安全についての思考・判断】

- ・けがの防止について、教科書や資料を基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。
- ・けがの防止について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明している。

【健康・安全についての知識・理解】

- ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止について理解したことを言ったり、書いたりしている。
- ・けがの手当について理解したことを言ったり、書いたりしている。

4 単元について

- (1) 本単元は、学習指導要領第5・6学年の目標(3)「心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。」を受け、内容(2)けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当ができるようにする。ア「交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。」イ「けがの簡単な手当は、速やかに行う必要があること」を設定したものである。

私たちの生活の中では、どこにいてもけがや事故が発生する可能性がある。また、毎年多くの交通事故や水の事故が発生し、けがをする人や死亡する人も少なくない。しかし、小学生の交通事故や水の事故の原因を調べてみると、ルールを守らなかつたり、交通違反をしたりして事故に遭うケースが多い。それは、日常生活での行動や環境の中にけがや事故の要因があるにもかかわらず、それに気付かないで繰り返されていることが考えられる。このような事故によるけがなどを未然に防ぐためには、「どうしておこったのか」「どうすればふせぐことができたか」などを児童の中に認識させていくことが重要であると考えた。

(2) 児童の実態

5年生の児童は、明るくて活発な児童が多い反面、グループ活動では、周りを気にしてしまったり、間違いを恐れてしまったりして自分の意見を言えない場合がある。

実態調査の結果をみると、

①周りを見て歩いていたり、走らないように気を付けたりして生活をしている…69%

②とくに気を付けないで生活している…31%

ほとんどの児童が、学校の中でけがをした経験をもっている。けがの種類では、すりきずが多く、場所は、校庭が多い。その原因は、自分の不注意や周りの環境などにある。

このような実態から、身近なところでけがや事故が起きている現状を知り、これからの生活の中で、進んでけがや事故を防止していこうとする態度を育てていきたい。

5 研究主題に迫るための手だて

(1) 児童一人一人が学習に興味、関心を寄せ、課題意識をもって取り組むことのできる授業作り

①学習資料の提示の工夫

- ・児童のアンケートや学校のけがの状況を比較しやすいようにグラフ化する。
- ・教科書の絵図を拡大提示する。…危険箇所を全体で把握させる。
- ・ICTの活用。…児童の発表を分かりやすく支援する。

②教材研究によるその領域・単元の特性分析

- ・児童のけがの実態把握をするためにアンケートを実施し、学校のデータや他のデータを比較することで、学校の中でもけがや事故が多く発生していることを確認させる。

③養護教諭、ゲストティーチャーとの連携

- ・第1・5時では、TTの形態をとり、養護教諭から学校のけがなどの現状や原因の情報を知り、けがの手当の仕方を児童に身に付けさせる。
- ・消防署の職員の方を招いて、保護者の方と共にAEDの使い方や緊急時の対応の仕方を学習する。
- ・避難訓練や起震車体験を通して、被害をできるだけ小さくするために、どんな努力がなされているか、災害が起きたらどのように行動すればよいのかを身に付けさせる。

(2) かかわり合いを大切に活動

①話し合いの場面の設定とその工夫

- ・グループ活動では、4人とする。ワークシートは、グループカードとし、グループで学習のめあてや分かったことを共有できるようにする。グループでカードを共有することで、話し合いを密にできコミュニケーション力も高めていけると考えた。

②他教科や身近な人とのかかわりを考えた指導の工夫

- ・けがを防ぐために考えた方法を学級活動や委員会活動などを通して、実践していく。
- ・学習したことを安心・安全パトロールの方にも知らせることでかかわりを深める。

(3) 適切な見取りとそれを生かした指導

①児童の学びを適切に見取るための評価規準の設定や学習カードの工夫

- ・けがや事故の原因を考えていく際、「心の状態」「体の調子」「人の行動」「周りの環境」の原因を視覚的に捉えることができるようにグラフ化することで、原因を明確にしていく。そして、けがを防ぐための工夫や努力が考えられるようにする。
- ・児童が理解したことや考えたこと、取り組んだことを記録に残し、継続した見取りができるようにする。
- ・単元の学習後、5年生のけがが減っているか保健室でデータを確認し、学習が実践に生かされているか見取る。

6 指導の流れ

| | | |
|--------------|--|--|
| <p>時</p> | <p>1. けがが起こるのは、なぜだろう</p> <p>①けがや事故、ひやりとした経験を想起させる。</p> <p>②学習の見通しを持たせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事故やけがは、どのような原因でおこるか考えよう。</p> </div> <p>③教科書のグラフから読み取れることを話し合う。 →小学生の事故の現状を読み取る。 →5年1組のアンケート結果と比べてみる。</p> <p>④養護教諭から、学校の現状も踏まえ、けがや事故の原因について話してもらう。 →事故の原因を「心の状態」「体の調子」「人の行動」「周りの環境」などのまとまりごとに原因を考えさせていく。</p> <p>⑤新聞記事や資料から、交通事故の防止についても話し合う。</p> <p>⑥自分の経験の原因も整理する。 →ワークシートに、自分のけがや事故の原因も仲間分けをする。</p> <p>⑦ワークシートで、けがや事故の起こる原因をまとめる。</p> | <p>2 地域でのけがの防止について考えよう</p> <p>①前時の振り返りをし、けがや事故が起こる原因について想起させる。</p> <p>②本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域でのけがを防ぐためには、どうすればよいか考えよう。</p> </div> <p>③かくれた危険がある絵を提示して、危険なところを探し、どこに問題があるのかグループで話し合う。 →決まりを守ること、危険に早く気づき、正しい判断をして、安全な行動をとることに気付かせる。</p> <p>④安全のために地域で行われている工夫や努力が何のために行われているかを考えさせる。</p> <p>⑤誘拐されたり、襲われたりといった犯罪から身を守るためにはどうすればよいかについて学習する。そして、どのような場所や場面で犯罪が起こりやすいのかを考えさせる。 →「犯罪が起きやすい場所や場面を避ける」「すぐに助けを求める」「一人にならない」「出かけるときは家の人に伝える」ことを押さえる。</p> |
| <p>評価の観点</p> | <p>関 ◎</p> | <p>◎</p> |
| <p>評価規準</p> | <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> けがの原因を考え、けがの防止について関心と課題意識を持つ。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> けがは、人の行動や周りの環境が原因で起こること、人の行動は心の状態や体の調子と関係していることが分かる。 | <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域における、けがを防ぐ方法を考えることができる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> けがを防ぐためには、きまりを守る、危険に気付く、正しい判断をして、安全な行動をとり、環境を安全に整えておくことが大切であることを理解している。 |
| <p>評価方法</p> | <p>ワークシート・発表</p> | <p>ワークシート・発表</p> |
| <p>指導支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○実物投影機を活用し、資料を拡大提示する。 ○自分の身近な問題であることを意識できるように資料を工夫する。 ○養護教諭から、学校のけがや事故の情報を提示し原因についても教えてもらう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○前時で調べたことや話し合ったことを実物投影機で提示する。 ○一人一人が話し合いに参加できるように、学習カードを工夫していく。 ○けがの防止について想起しやすいように、前時の資料を掲示していく。 |

| | | |
|---------|--|---|
| 時 | 3. 学校でのけがの防止 | 4. 学校のけがを防ぐ方法を考えよう(本時) |
| 学習内容・活動 | <p>①前時の学習を振り返り、地域でのけがや事故の防止を想起させる。</p> <p>②本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学校でのけがを防ぐためには、どうすればよいでしょう。</p> </div> <p>③かくれた危険がある絵を提示して、危険なところを考える。</p> <p>④校内でけがや事故が多いところを確認し、グループで分かれ、原因をさぐる。 →けがや事故が多いところの場所や人数を提示する。 →実際の場所に行き、写真を撮りながらけがや事故の原因を予想する。</p> <p>⑤グループごとに調べた結果を発表する。 →実物投影機を使って、写真や学習カードを拡大提示しながら発表できるようにする。</p> <p>⑥学校で起きるけがや事故の原因も「心の状態」「体の調子」「人の行動」「周りの環境」がかかわっていることに気付かせまとめる。</p> | <p>①前時の学習を振り返り、学校でのけがや事故が多かった場所や原因を想起させる。</p> <p>②本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学校でのけがを防ぐ方法を考えよう。</p> </div> <p>③教科書のかくれた危険がある絵を提示して、けがを防ぐ方法を考える。</p> <p>④けがの起こる原因から、けがを防ぐための方法を考える。 →グループごとに調べた、けがの原因を発表する。 →グループごとに、けがの原因から、けがを防ぐ方法を考える。</p> <p>⑤けがを防ぐ方法を発表する。 →実物投影機を使って、写真や学習カードを拡大提示しながら発表できるようにする。</p> <p>⑥発表をしたことをもとに、具体的に行動ができるようにする。</p> |
| 評価の重点 | <p>関</p> <p>思 ○</p> <p>知 ○</p> | <p>○</p> <p>○</p> |
| 評価規準 | <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校における、さまざまな場面の隠れた危険を見つけることができる。 | <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校における、けがを防ぐ方法を考えることができる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> けがを防ぐためには、きまりを守る、危険に気付く、正しい判断をして、安全な行動をとり、環境を安全に整えておくことが大切であることを理解している。 |
| 評価方法 | ワークシート・発表 | ワークシート・発表 |
| 指導支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の挿絵から、かくれた危険がどこにでも存在していることにも気付かせる。 ○調べたことが分かりやすく発表できるように実物投影機を使う。 ○学習カードを活用し、学校のけがや事故の原因を4つの観点でまとめることができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○前時で調べたことや話し合ったことを実物投影機で画面に提示する。 ○一人一人が話し合いに参加できるように、学習カードを工夫していく。 ○けがの防止について想起しやすいように、前時の資料を掲示していく。 |

| | | |
|---------|--|---|
| 時 | 5. けがの手当ての仕方を知ろう | |
| 学習内容・活動 | ①前時までの学習を振り返る。 ②本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分でできるけがの手当てのしかたを身に付けよう。 </div> ③アンケートの結果から、児童の手当ての仕方を確認する。 ④養護教諭から正しい簡単な手当ての仕方を聞き実習する。 →鼻血・すり傷・切り傷・やけど・捻挫・突き指・熱中症 →ペア学習を取り入れ、二人で確認しながら実習させる。 ⑤けが人が出たときの対処方法を知る。 →通報の仕方・大きなけがの場合 | |
| | | |
| 評価の重点 | 関 | |
| | 思 | ◎ |
| | 知 | ○ |
| 評価規準 | 【思考・判断】 ・簡単なけがの仕方を知り、実際に手当てをすることができる。 【知識・理解】 ・学校生活で起こりやすいけがについて、けがの状態や名前を知ることができる。 | |
| 評価方法 | 観察・発表 | |
| 指導支援 | ○養護教諭から、簡単な手当ての仕方を教えてもらう。 ○お互いに確認しながら、けがの手当てができるようにペア学習の形態で行う。 ○手当ての仕方を拡大提示し分かりやすいようにする。 | |

7 本時について (4/5時間目)

(1) 本時の目標

【思考・判断】学校における、けがを防ぐ方法を考えることができる。

【知識・理解】けがを防ぐためには、きまりを守る、危険に気付く、正しい判断をして、安全な行動をとり、環境を安全に整えておくことが大切であることを理解している。

(2) 展開

| | 学習活動 | ☆ 指導 ◎ 支援 ◆ 評価 (観点・方法) |
|------------|--|---|
| 感じる 5分 | 1. 前時の学習を振り返り、学校でのけがや事故が多かった場所や原因を想起させる。 ・校庭で友達とぶつかった。 ・廊下を走ってけがをしていた。 ・階段の途中からとびおりにしまった。 | ◎前時の発表した資料を教室に掲示し、振り返りができるようにする。 ☆けがや事故は、人の行動と周りの環境が要因で起こることを確認する。 |
| 気づく 35分 | 2. 学習内容、めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">めあて 学校でのけがを防ぐ方法を考えよう。</div> 3. かくれた危険の挿絵を提示し課題を把握させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">校庭</div> 危険 ・ボールが人にぶつかる。 ・人どうしがぶつかる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">問題</div> ・場所を決めず色々な遊びをしている。 ・周りをよく見ていない。 4. グループで調べたけがや事故が起きた場所のけがを防ぐ方法を考える。 ・けがの原因から、けがを防ぐためには、どのようなことに気を付ければよいか考える。また、けがや事故を防ぐための工夫や努力についても考える。 個人→グループでの話し合い→まとめる 5. けがを防ぐ方法を発表する。 | ☆自分たちで、学校で起きるけがや事故を防ぐ方法を考えることを意識させる。 ☆挿絵の場面には、かくれた危険を探し、どこが問題なのかも考えさせる。 ◎ワークシートのグラフを基に、一つの考えにだけでなく、いろいろなけがや事故を防ぐ方法を考えられるようにワークシートに書き込む。また、絵や図でも表現してもよいことにする。 ◆学校における、けがの原因から防ぐ方法を考えることができる。(観察・発表) ☆実物投影機を使って、写真や学習カードを拡大提示しながら発表できるようにする。 ◆けがを防ぐためには、「きまりを守る」「危険に気付く」「正しい判断をして、安全な行動をとり、環境を安全に整えておくこと」が大切であることを理解している。(観察・発表・学習カード) |
| つかむ 5分 | 6. 発表をしたことをもとに、けがや事故を防ぐ方法をまとめる。 7. 次時の学習の予告をする。 | ☆これから、学級活動や委員会などで、具体的にけがや事故を防ぐ方法を実践できるようにする。 ○けがの手当の仕方について行うことを伝える。 |

(3) 評価

◎【思考・判断】学校における、けがを防ぐ方法を考えることができたか。

○【知識・理解】けがを防ぐためには、きまりを守る、危険に気付く、正しい判断をして、安全な行動をとり、環境を安全に整えておくことが大切であることを理解している。

学校のけがを防止プロジェクト
調べる場所 ()
多いけがの種類

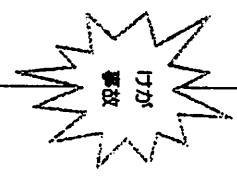
班メンバー

けがや事故の原因を考えよう

心の状態・体の調子

周りの環境

人の行動



けがや事故を防ぐために、どんなことに気を付ければよいか考えよう。

◎大東小のけがを防止プロジェクト
どんなプロジェクトができるかな？ (OOプロジェクト)

学校のけがを防止プロジェクト

5年組 名前 ()

◎けがを調べる場所 ()

◎どんなけがが起こりやすいか。

●心の状態・体の調子

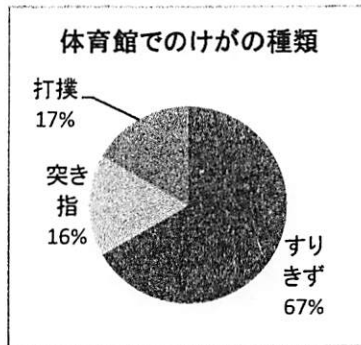
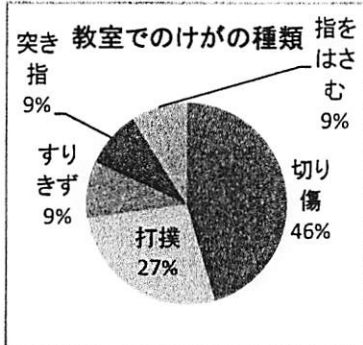
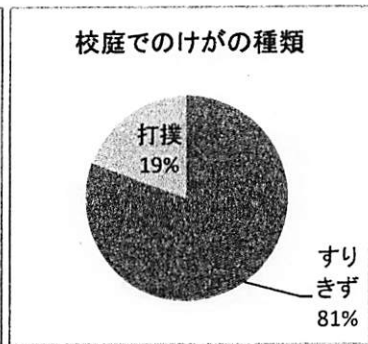
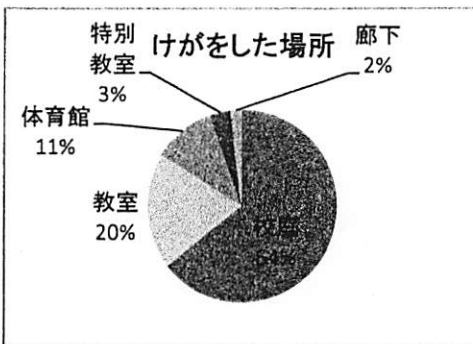
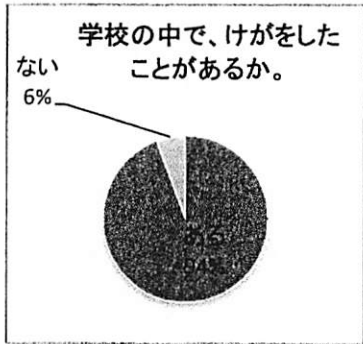
●周りの環境

●人の行動

◎けがや事故を防ぐために、どんなことに気を付ければよいか考えよう。

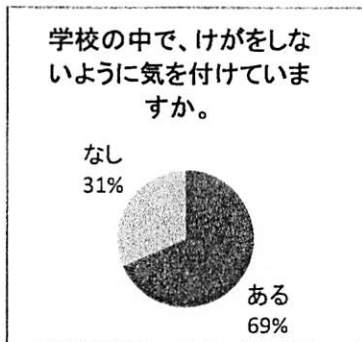
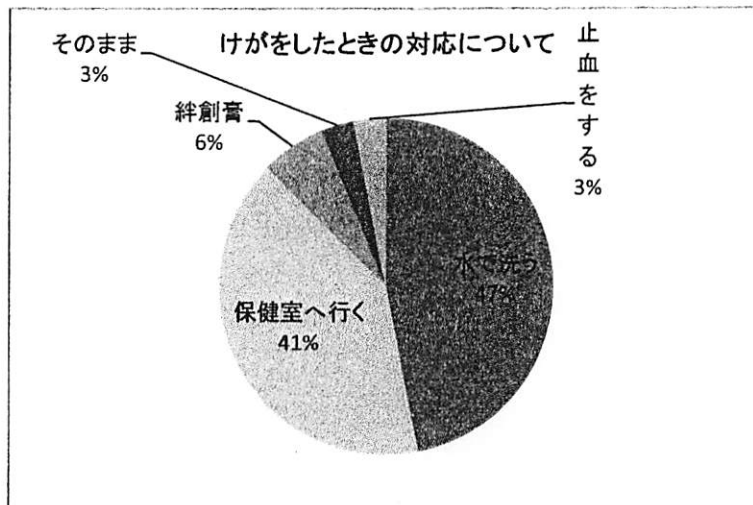
◎大東小のけがを防止プロジェクト
どんなプロジェクトができるかな？ (OOプロジェクト)

◎学習の感想を書こう。



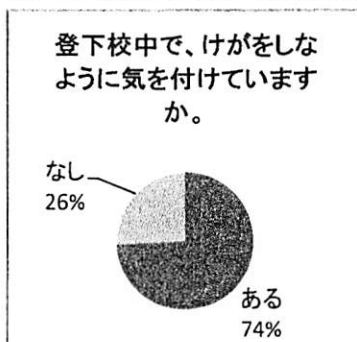
その他

| | |
|-----|-----|
| 音楽室 | 鼻血 |
| 図工室 | 切り傷 |
| 廊下 | 打撲 |



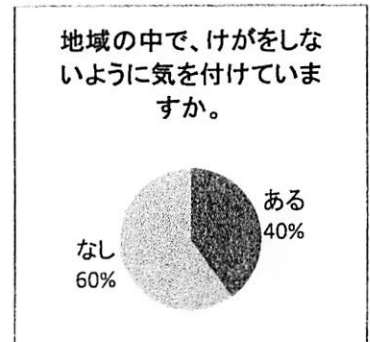
気を付けていること

- ・走らない 10人
- ・周りをよく見る 4人
- ・廊下を歩く 4人
- ・その他 4人



気を付けていること

- ・左右確認 7人
- ・周りを見て歩く 5人
- ・白線の中を歩く 4人
- ・その他 9人



気を付けていること

- ・周りを見ることや安全確認 7人
- ・知っている場所でも気を付ける。2人
- ・危険な遊びをしないことやふざげない。2人
- ・その他 1人